

# 行政視察報告

## 厚生文教委員会



### 福井県鯖江市

令和5年10月30日、福井県鯖江市への視察を行いました。

市民協働の醸成、市民自らによる課題解決力向上への支援を図るべく、条例に基づいて、学生連携やJK課などが展開されている様子を伺いました。



鯖江市では、2003年に「鯖江市市民活動によるまちづくり推進条例」、2010年に「鯖江市市民役条例」を市民提案から制定し、自分たちのまちは自分たちがつくることを明文化し、他の地域に先駆けて「市民主役・市民協働」のまちづくりを進めてきました。しかし、活動は一部の市民や特定の団体の間に留まることが多く、その裾野を広げる

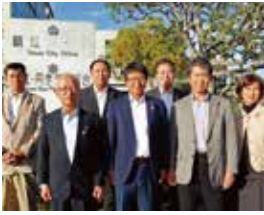
## 滋賀県甲賀市

令和5年10月31日、滋賀県甲賀市への視察を行いました。

ますます複雑化・複合化する地域住民の課題に対応するため、属性別の支援体制の垣根を超える取り組みを促している、重層的支援体制整備事業を先進的に取り組んでいる様子を見ました。



JK課に携わるような高校生たちは郷土愛をもって、自分たちでこのまちを盛り上げていきたいという気概が生まれるのだと感じました。市長がJK課というプロジェクトを許容し、市が彼女たち若者の取り組みを精一杯サポートし、市民も議会も理解していった流れは、大いに参考にすべきところであると感じます。若者に居場所と出番を与えることで、地域の課題を自分事と捉える主権者意識が芽生え、若者が動くことで大人が変わり地域が動くという実践例を見せてもらった気がします。



## 奈良県大和郡山市

令和5年10月3日、奈良県大和郡山市への視察を行いました。

大和郡山市は、金魚すくいを競技として位置付けた全国金魚すくい選手権大会の開催や、金魚をモチーフとした金魚スポットの街なかへの配置など、観光客が楽しみながら周遊できる取り組みを行っています。また、観光協会のホームページも開設しており、金魚のPRの一役を担っていることから、活用に向けての参考にしたという目的で視察を行いました。



金魚のポスト

支援が届かない人に支援を届けることの重要性、支援を求めて来ない人にも積極的な支援を提供することの必要性を感じました。社会福祉協議会や民生児童委員が福祉施策を行なっていますが、ケアラーの問題やペットの問題が含まれることで教育や環境分野の支援体制が必要であり、重層的支援体制の重要性が理解できました。

甲賀市では、令和3年度に第2次甲賀市地域福祉計画を見直し、国の社会福祉法改正に伴う重層的支援体制整備事業を盛り込みました。

支えてこられているボランティアを中心とする市民や協賛する企業などの協力が不可欠であり、それが大和郡山市の文化になっているのだと感じました。

情報発信のためのホームページ作りについては、観光や訪問の際に、観光協会のホームページを見られる方が多くいるとのことなので、見やすく必要な情報にアクセスできるように働きかけが必要であると感じました。

観光振興は、地域のアイデンティティや誇りを強化する効果も期待できるため、本市が「金魚の三大生産地」としての「誇り」と、「金魚のまち」としての「こだわり」を一層深め、市民と共有することが重要と感じました。



金魚の灰皿

大和郡山市では、市民に対して文化や街のシンボル、シビックプライドとして、金魚が深く根付いている印象を受けました。「全国金魚すくい選手権大会」というイベントを28年続けてきたことに価値があり、